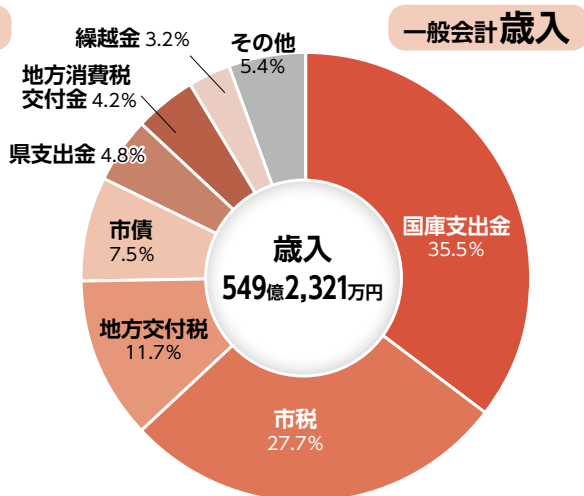
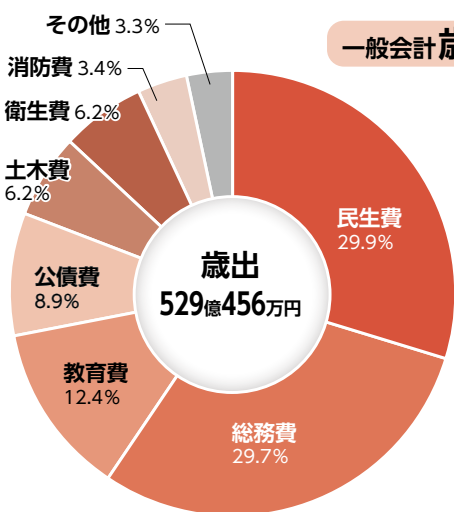


認定

歳出 529億456万円



一般会計決算目的別歳出内訳表

| 区分 | 使 用 道 | 金額 (千円) | 総額に対する割合 (%) | 前年度比 (%) | 住民一人当り額 (円) |
|-----------|---------------------|------------|-----------------|-------------|----------------|
| 議 会 費 | 議会運営等 | 297,859 | 0.6 | △ 0.4 | 2,527 |
| 総 務 費 | 庁舎や職員の管理費、財政、徴税、選挙等 | 15,738,799 | 29.7 | 329.6 | 133,498 |
| 民 生 費 | 福祉、高齢者福祉、国民年金、子育て等 | 15,796,485 | 29.9 | 3.1 | 133,988 |
| 衛 生 費 | 健康増進、ごみ処理、環境衛生等 | 3,270,784 | 6.2 | 22.8 | 27,743 |
| 労 働 費 | 雇用促進、勤労者支援等 | 80,250 | 0.2 | △ 2.5 | 681 |
| 農林水産業費 | 農業、土地改良等 | 488,808 | 0.9 | △ 4.0 | 4,146 |
| 商 工 費 | 商工業、観光振興等 | 834,041 | 1.6 | 77.8 | 7,074 |
| 土 木 費 | 道路、公園、区画整理事業等 | 3,301,909 | 6.2 | △ 8.2 | 28,007 |
| 消 防 費 | 火災、風水害等 | 1,820,627 | 3.4 | 5.3 | 15,443 |
| 教 育 費 | 学校教育、社会教育、スポーツ振興等 | 6,546,958 | 12.4 | 47.5 | 55,532 |
| 災 害 復 旧 費 | 災害復旧に係る諸経費 | 22,840 | 0.0 | △71.7 | 194 |
| 公 債 費 | 市債などの返済金 | 4,705,205 | 8.9 | △ 0.9 | 39,910 |
| 合 計 | | 52,904,565 | 100.0 | 40.7 | 448,743 |

9月定例会は、8月31日から9月24日までの25日間の会期で開催されました。市長から提出された「令和3年度一般会計補正予算(第6号)」「令和2年度鴻巣市一般会計決算認定について」など28議案が上程され、いずれも原案のとおり同意・可決・認定しました。また、最終日に、議員提出議案として5議案が上程され、そのうち4議案は原案のとおり可決しましたが、1議案は否決となりました。請願1件は、不採択となりました。

令和2年度 決算を

一般会計 歳入 549億2,321万円

政策と主な事業

金額(千円)

①安全・安心に暮らせるまちづくり

| | |
|-------------|---------|
| 公共交通維持事業 | 252,708 |
| 災害支援体制整備事業 | 120,166 |
| 交通安全施設整備事業 | 18,453 |
| 地球温暖化対策先導事業 | 6,185 |
| 防災意識向上事業 | 6,534 |

④住みたい・住んでよかったと思える快適なまちづくり

| | |
|------------------|---------|
| 道路改修事業 | 324,790 |
| コウノトリの里づくり事業 | 252,885 |
| 都市下水道維持管理事業 | 34,177 |
| 大間近隣公園整備事業 | 32,175 |
| 三谷橋大間線(3期工事)整備事業 | 16,812 |

②いきいきと健康で充実した生活を過ごせるまちづくり

| | |
|---------------|-----------|
| 特定教育・保育所等支援事業 | 2,343,352 |
| こどもの医療費支給事業 | 287,495 |
| 民間保育園等補助事業 | 150,893 |
| 生活困窮者自立支援事業 | 33,095 |
| 病児・病後児保育事業 | 28,826 |

⑤賑わいと活力と魅力を創出できるまちづくり

| | |
|---------------|--------|
| プレミアム付商品券支援事業 | 58,355 |
| 道の駅整備事業 | 31,354 |
| 商工会補助事業 | 30,330 |
| 賑わい創出交流拠点整備事業 | 5,935 |
| こうのとりパートナー事業 | 2,192 |

③子どもから大人まで、生涯にわたる学びと文化が根付くまちづくり

| | |
|----------------|-----------|
| 中学校給食センター整備事業 | 1,834,543 |
| 小学校教育用パソコン設置事業 | 503,751 |
| 中学校教育用パソコン設置事業 | 248,569 |
| 児童生徒健康安全事業 | 120,613 |
| 学校花いっぱい運動事業 | 4,780 |

⑥市民協働による、一人一人が主役のまちづくり

| | |
|----------------------|--------|
| ネットワークシステム事業 | 55,045 |
| ふるさと納税促進事業 | 51,346 |
| 鴻巣地区複合施設整備研究事業 | 6,966 |
| 国土強靱化地域計画策定事業 | 2,057 |
| A I等を活用した働き方改革推進研究事業 | 904 |

(単位：%)

| 指標の名称 | 令和2年度 | | | 令和元年度 |
|-------------------------------------|---------|-------|-----------|-------|
| | 早期健全化基準 | 鴻巣の比率 | 県内市町村平均比率 | 鴻巣の比率 |
| 実質赤字比率(一般会計などの赤字の大きさ) | 12.10 | - | - | - |
| 連結実質赤字比率(市全体の赤字の大きさ) | 17.10 | - | - | - |
| 実質公債費比率(借入金などのその年の返済額の大きさ) | 25.0 | 4.3 | 5.0 | 4.4 |
| 将来負担比率(借入金の残高など今後支払わなければならない負債の大きさ) | 350.0 | 8.9 | 16.0 | 9.0 |

財政健全化判断比率

令和2年度決算に基づく財政健全化判断比率は、早期健全化基準以内であり、引き続き財政の適正運営が行われました。

※赤字でない場合「-」で表示

条例の制定

鴻巣市にぎわい交流館 条例

問 地域食材を活用した商品開発をするとのことだが、カフェのメニューはどのような物を考えているのか。



答 現在、女子栄養大学、日本薬科大学の学生と運営準備パートナーとの協働で、学生が考案し、地域食材を活用したメニューを検討しています。鴻巣産の食材をできる限り使用した商品開発を進めています。

問 地域交流の対象の人たちは、この場所は、市役所、免許センター、フレアこののす、総合体育館や陸上競技場などの公共施設が集積しており、市民はもちろん市外からの来訪者などを想定しています。

補正予算 相談事業・公共施設で 生理用品の配布

問 困りごと相談などの相談事業と、公共施設で生理用品を配布することとの関連性は。

答 生理の貧困対策として実施するもので、経済的な問題、夫からの経済的暴力、親に買ってもらえない学生等、様々な要因があり、またコロナ禍において女性の自殺者が急増しています。このことから生理用品と一緒に悩みを相談できる窓口一覧を配布し、コロナ禍における悩み事を相談へつなげるのが目的です。

問 配布場所と配布方法は。



答 市役所内の相談窓口、各公民館、両支所、社会福祉協議会等で、窓口に設置した意思表示カードを職員に渡すか、掲示してあるポスターを指さしてもらったか、スマホでホームページ画面を提示すれば1パック入りの袋をもらうことができます。

補正予算 コロナワクチン接種 補正理由と完了目安

問 コロナワクチン接種、市民への2回完了時期の目安と今回補正する理由は。

答 接種の終わりをどこで見極めるかが、一つの課題だと考えています。11月中旬で、全ての希望する市民がほぼ接種できると考えます。一方で、国が2月下旬までの接種期間と示しているほか、後から接種したいという人も出てくること、正式な通知はありませんが3回目の接種の話が出ていることなどから、どのような事態になっても円滑に接種ができる体制を整えたいと考え、2月までの委託料を組みました。

補正予算 水道基本料金の免除

問 本市の水道料金収入に関連し、新型コロナウイルス感染症の対応ということで水道基本料金の免除を行うことが、その財源としては、今後、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当(活用)することはできるのか。

答 今回の免除の実施に際しては、まずは一般会計からの繰出金を財源として行います。現在、国に対して新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の申請をしています。昨年と同様に交付対象事業であることから、承認された際には一般会計の中で財源として充当があると考えています。

補正予算 戸籍住民基本台帳費 庶務事業

問 非接触型のセミセルフレジを購入することだが、コンビニエンスストアなどにある非接触型のレジと同じようなものか。

答 現在、コロナ禍で来庁者と職員の間で直接的な接触を避ける必要があり、

コンビニやスーパーで設置されているものと同様なセミセルフレジを市民課に導入する計画で、来庁者をレジで滞留させずスムーズに窓口業務を行えるよう2台配置します。また、レジに集計機能があるので、1日の日計等の集計において時間短縮の効果も期待されます。

決算 新給食センター整備事業

問 中学校給食センター整備事業について、従来施設と比べて、新施設の特徴などは。

答 ハード面では、作業区域の明確な区分、床は常に乾いた状態で、清潔に保てるフルドライシステムの採用、適正な空調管理、学校給食衛生管理基準に対応した施設であるほか、食物アレルギー食の対応調理室を備えたことが大きな違いとなっています。



決算 生活保護扶助事業

問 生活保護の世帯数は前年度と比べてどうか。また、医療扶助費が減額した理由は。

答 世帯数は、令和元年度末の665世帯に対し、2年度末が660世帯

となり、5世帯減少しています。人数でも元年度末が846人、2年度末が819人と減少しています。また、減額の理由は、コロナ禍による医療機関への受診控えや入院対象者が減ったことのほか、受診時の診療内容が必要な検査や投薬のみなど簡易的になったことが考えられます。

決算 障がい者基幹相談 支援センター運営事業

問 事業内容と実績は。

答 センターは、令和2年4月1日に開設しました。地域における相談支援の中核的役割を担う機関として、身体、知的、精神の3障がいに対応する総合的な相談支援事業を行っています。2年度の実績は、総合的・専門的な相談支援の実施が219件、地域の相談支援体制の強化の取組が97件、地域移行・地域定着の促進の取組が4件、権利擁護・虐待の防止が36件、地域づくりに向けた取組が232件、合計588件となっています。

決算 未就学児お散歩コース 安全対策工事

問 対象の保育園等はどこか。

答 エンゼル幼稚園、登戸保育所、ま

ごやま保育園、カインド・ナーサリー鴻巣本町園、富士見保育所、保育室まなびい、保育室風の街、ふくろうの森保育園の8園になります。



決算 三谷橋大間線（3期工事） 整備事業

問 令和2年度の事業内容と今後の見通しは。

答 令和2年度は、地質調査委託として道路詳細設計に必要な土質、地質の構成や状況を把握するため、地質調査を行いました。また、設計委託料は実施に向けた道路縦断計画の決定、道路排水や土留め構造物等の詳細設計を行いました。今後の予定としては、3年度に都市計画の変更を予定しており、今後は用地測量や物件調査などを行い、これらの調査が完了し次第、用地買収、物件補償を進めていきます。

決算 空家等適正管理事業

問 空家等適正管理事業において、空家の所有者がその空家を解体すると

した際の補助制度についての考えはあるか。

答 解体に対する補助については、空家等対策協議会に諮る方向です。近隣市では、北本市、熊谷市が30万円、行田市が50万円の補助金を出しています。県内の市町村を参考にしながら、検討していきたいと考えています。

決算 大気・土壌・水質環境 対策事業

問 調査場所、調査内容は。

答 ダイオキシソリン類環境調査業務委託及び自動車騒音常時監視業務委託等を実施しました。ダイオキシソリン類環境調査業務委託における調査箇所は4か所、河川、水路等水質の調査を行った場所が17か所となっています。調査内容については、市内の大気環境中のダイオキシソリン類濃度調査及び河川、水路等の水質汚濁状況を調査しています。自動車騒音常時監視業務委託の調査箇所は、市内の主要幹線道路6区間を調査しました。調査内容については、自動車騒音の状況の常時監視を実施し、環境基準達成状況の把握を行いました。

決算 災害支援体制整備事業

問 自助、共助、公助についての市民の理解度は。

答 災害発生時における自助、共助、公助に対する市民の理解度について具体的に調査したものではありませんが、東日本大震災や令和元年東日本台風の経験から個人の防災意識は高まっていると思います。



市では日頃からの備えとして、昨年9月に全戸配布した水害ハザードマップにおいて自宅の浸水区域の確認、水害時の避難行動、気象避難情報等と併せて非常用持ち出し品、備蓄品を備えて自分の身は自分で守るという自助の考え方を周知しています。また、共助については、市内で結成している自主防災組織の結成率が6割を超え、お互いに支え合う体制が構築されていると考えています。

その他 第6次鴻巣市総合振興 計画基本構想の変更

問 人口減少と少子高齢化の一層の対策とはどのようなことなのか。

答 合計特殊出生率を最終的に1・6までに改善すること、またこれを達成するために教育と子育てに関する分野を統合し、連携を図ること、子育て世代の転入・出生数の増加につなげる対策と考えます。